

1 「『背表紙が呼んでいる』」(16・1)とあるが、どのような様子を表しているのか。空欄に適切な言葉を選ぼう。

「背表紙が呼んでいる」とは、「①」に「②」ように導かれて、その本を「③」様子を表している。

ア 本棚 イ タイトル

ウ 表紙 エ 手に取る

オ 夢中になる カ 吸い寄せられる

キ 目に飛び込む

(符号を含む。)

① ② ③

2 「衝撃」の一言に尽きます。」(16・9)とあるが、その「衝撃」の様子を別の言葉で表しているところがある。本文中から五字で抜き出そう。(符号を含む。)

3 「あんな形」(17・9)とはどのようなことか。

4 「その感情」(17・14)にあたるもの、二つ選ぼう。

ア 完全にはまつてしまつたという感じ。

イ 正体がわからないという不安。

ウ 「好き」という気持ち。

エ 背表紙に吸い込まれる不思議な感情。

診断テスト

/50

一 『赤毛のアン』は、小学生の僕に何を訴えたといえるか、本文中から抜き出しなさい。

二 僕が『赤毛のアン』にはまつていながら、周囲に公言してこなかつたのはなぜだろうか。それを説明した次の文の空欄に適切な言葉を答えなさい。

『赤毛のアン』は、「①」の文学とは見なされていないため、それを人前で「②」と言うのが恥ずかしいことであったから。また、自分の中の「もやもや」を「③」し続けようとしたから。

三 P19 L5 「『好き』と言つても、別に恥ずかしいことではない」のはなぜか。それを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を、自分の言葉で答えなさい。

夏目漱石や小津安二郎の作品は、世間でもその評価が確立しており、自分が改めてそれを評価しても「」から。

四 P19 L14 「青春の『もやもや』が、まだ残っている」とはどういうことか、説明しなさい。

五	四	三	二 ①	一
5×1				

15×1 10×1 5×3 5×1

五 筆者の考え方として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 疑問や宿題はすぐに解決すべきで、あとに持ち越すべきではない。

イ 人は不完全なものだから、未解決な課題があつてもしかたがない。

ウ 性急に評価するより、熟成させておいたほうが見えることがある。

エ 人は、常に「もやもや」の課題解決に取り組み続けるべきだ。

・どんな体験

・書こう。

・いつ頃

六 あなたにとっての「もやもや」体験について、書き出してみよう。(いつ頃の、どんな体験で、今はどうなっているか、を

5 「落ち着きど」ろがわからない。」(19・13)と同じ意味を表していると「ろを三つ抜き出そう。